

整理番号 06162

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等） **Fiber Shapes**  
ファイバー成形品

販売者情報	会社	LECO ジャパン合同会社
	住所	〒105-0014 東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号 住友不動産芝ビル 4 号館
	担当	SDS 担当者
	電話番号	(03) 6891-5800 FAX 番号 (03) 6891-5801
製造者情報	会社	LECO Corporation
	住所	3000 Lakeview St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.
緊急時電話番号	Chemtrec Int'l	703-527-3887

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

物理化学的有害性 : 分類されていない  
健康に対する有害性 : 発がん性 区分 2  
環境に対する有害性 : 分類されていない

### ラベル要素

絵表示：



注意喚起語： 警告

危険有害性情報： 吸入により発がん性のおそれ

### 注意書き

安全対策： 使用前に取扱説明書を入手し、注意事項を読んで理解するまで使用開始しないこと。適切な保護具を着用すること。

- 応急措置： 暴露があった場合、または懸念される場合は医療アドバイスを受ける。
- 保管： 乾燥した場所に保管する。換気の良い場所に保管する。
- 廃棄： 内容物、容器の廃棄は国、地方自治体、国際規則に従って行う。

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名	非晶質アルミナシリカ繊維	非晶質シリカ
成分及び含有量(wt%) *	90-100	<3
化学式又は構造式	特定できない	SiO <sub>2</sub>
官報公示整理番号		
化審法	非該当	1-548
安衛法	通知対象物質 314	非通知対象物質
P R T R法	対象外	対象外
C A S No.	142844-00-6	7631-86-9
国連番号及び国連分類	非該当	非該当

\*特定の成分、含有量は企業秘密として公表を差し控えています。

### 4. 応急措置

吸入した場合	ダストを吸入した場合、すぐに新鮮な空気のある場所に移動させる。症状がひどくなる/続く場合は医師に相談する。
皮膚に付着した場合	多量の水、石鹼ですぐに洗い流す。刺激がひどくなる/続く場合は医療機関に連絡する。
目に入った場合	すぐに多量の水で洗い流す。刺激がひどくなる/続く場合は医療機関に連絡する。
飲み込んだ場合	水で口をよくすすぐ。症状がみられる場合医療機関に連絡する。
急性症状及び遅発性症状 の最も重要な兆候症状	ダストが気道、皮膚、眼に刺激を与えることがある。

### 5. 火災時の措置

消火剤	周辺火災に応じた消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤	知見なし
火災時の特有の危険有害性	特に異常な火災や爆発は起こらない。
消火を行う者の保護	知見なし

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	換気をよくする。ダストを吸入しない。適切な保護具を着用する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	清掃中のダストの発生を防ぐ。空気中にダストが拡散しないようにする（圧縮空気でダストを吹き飛ばしたりしない）。HEPA フィルターを備えた掃除機でダストを集める。
環境に対する注意事項	環境へ放出されることを防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱注意事項	ダストの発生、蓄積を最小限にする。ダストが発生する場所には適切な換気を設ける。眼、皮膚への接触を防ぐ。適切な保護具を着用する。取扱後はよく手洗いをを行う。産業衛生に気を配る。長時間の暴露を避ける。
安全な保管条件	換気の良い、乾燥した場所に保管する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度(暴露限界値)

US. OSHA TableZ-3 (29 CFR 1910.1000)

成分	タイプ	値
非晶質シリカ (CAS 7631-86-9)	TWA	0.8 mg/m <sup>3</sup> 20 mppcf

US. ACGIH Threshold Limit Values

成分	タイプ	値	形状
非晶質アルミナシリカ繊維 (CAS 142844-00-6)	TWA	0.2 fibers/cm <sup>3</sup>	ファイバー

US. NIOSH : Pocket Guide to Chemical Hazards

成分	タイプ	値	形状
非晶質シリカ (CAS 7631-86-9)	TWA	6 mg/m <sup>3</sup>	
非晶質アルミナシリカ繊維 (CAS 142844-00-6)	TWA	3 fibers/cm <sup>3</sup>	ダスト
		3 fibers/cm <sup>3</sup>	ファイバー
		5 mg/m <sup>3</sup>	ファイバー、トータル
		5 mg/m <sup>3</sup>	ファイバー、トータルダスト

生物学的限界値

生物学的暴露限界値は設定されていない。

設備対策

特に密閉された空間では十分な換気を行う。換気装置、局所排気またはその他の設備対策によってダスト濃度を許容濃度以下に抑

保護具		えるようにする。
	眼/顔の保護	サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。
	皮膚の保護	
	手	保護手袋。
	その他	耐水性エプロンなどが推奨される。
	呼吸器の保護	換気が不十分な場合適切な呼吸器を使用する。ダスト/フュームが許容濃度を超える恐れがある場合、認証済みの呼吸器を使用する。
	熱的危険	必要な場合熱保護衣を着用する。
	一般的な衛生事項	製品の取扱い後、飲食や喫煙の前の手洗いなど常に衛生に気を配る。仕事着、保護具類は定期的に洗濯、清掃する。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観	物質の状態	固体
	形状	繊維
	色	白
臭い		なし
臭気限界		入手不可
pH		入手不可
融点・凝固点		1760 °C
沸点、初留点と沸騰範囲		入手不可
引火点		入手不可
蒸発率		入手不可
燃焼性(固体、ガス)		入手不可
燃焼または爆発範囲		入手不可
	燃焼範囲-下限(%)	入手不可
	燃焼範囲-上限(%)	入手不可
	爆発下限界(%)	入手不可
	爆発上限界(%)	入手不可
蒸気圧		入手不可
蒸気密度		入手不可
相対密度		2.5-2.75
溶解度		不溶性
n オクタノール/水分配係数		入手不可
自然発火温度(発火点)		入手不可
分解温度		入手不可
粘度		入手不可
その他の情報		
	爆発性状	爆発性はない
	酸化性	なし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	この物質は通常の使用方法、保管、輸送の条件下で安定。
化学的安定度	通常の状態ですべて安定。
危険有害反応可能性	通常の使用方法で有害な反応は知られていない。
避けるべき条件	水にぬれた場合、使用前によく乾燥すること。
混触危険物質	入手不可
有害な分解生成物	入手不可

## 11. 有害性情報

起こりうる暴露についての情報

吸入	ダストの吸入により呼吸器に刺激が起こる場合がある。長期的に暴露すると有害な場合がある。
皮膚	ダストや粉末状になった製品が皮膚に刺激を与えることがある。
眼	ダストが目刺激を与える場合がある。眼に直接接触すると一時的な刺激を受ける場合がある。
飲み込んだ場合	入手不可

物理的、化学的、有害性特性に関連した症状  
ダストが気道、皮膚、目への刺激を起こすことがある。

毒物学的影響

急性毒性

成分	種	結果
----	---	----

非晶質シリカ (CAS 7631-86-9)

急性

経口

LD50

マウス

>15000 mg/kg

ラット

>22500 mg/kg

\* 製品への評価にはデータとして記載されていない成分が含まれている場合があります。

皮膚の腐食/刺激 入手不可

重篤な眼の損傷/眼刺激 入手不可

呼吸器または皮膚感作性

呼吸器感作性 入手不可

皮膚感作性 入手不可

生殖細胞変異原性 入手不可

発がん性	発がん性の疑いがある。
IARC Monographs. Overall Evaluation of Carcinogenicity	
非晶質シリカ (CAS 7631-86-9)	3 ヒトに発がん性があるとは分類できない
非晶質アルミナシリカ繊維 (CAS 142844-00-6)	2B ヒトへの発がん性の可能性
OSHA 特定規制物質 (29CFR 1910.1001-1050)	記載なし
US. National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens	
非晶質アルミナシリカ繊維 (CAS 142844-00-6)	ヒト発がん性が懸念される
生殖毒性	入手不可
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	分類されていない
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	分類されていない
吸引性呼吸器有害性	入手不可

## 12. 環境影響情報

生態毒性	この製品は環境に有害であると分類されていない。ただし、大量または頻繁に放出が起きた場合に環境への悪影響、ダメージが起こらないというものではない。
残留性/分解性	分解性に関するデータの入手不可
生態蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
その他の有害影響	この製品による環境への悪影響 (例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性) は考えられていない。

## 13. 廃棄上の注意

廃棄手順	内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従い行う。
残余廃棄物/未使用製品	N/A
汚染容器	N/A

## 14. 輸送上の注意

DOT	規制なし
IATA	規制なし
IMDG	規制なし

## 15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	通知対象物質
消防法	非該当
化学物質の審査及び製造等の 規制に関する法律	非該当
化学物質排出把握管理促進法	非該当
国連番号	非該当
IMDG	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
港則法	非該当

2015年特定化学物質障害予防規則、労働安全衛生法施行令、労働安全衛生規則の改正が行われ本製品に含まれるリフラクトリーセラミックファイバー（RCF）が規制の対象となりました。ただし、本製品はバインダーにより固形化されており通常の使用でRCFが飛散することではなく、特化則第二条の二「適用の除外」七に挙げられている「バインダーにより固形化された物その他のリフラクトリーセラミックファイバー等の粉じんの発散を防止する処理が講じられた物」に該当するため、製品を使用した業務に本規則の適用はございません。なお、当該物を切断等粉じんが発散するおそれがある作業を行う場合には本規則が適用されますので、通常の使用方法以外の作業を行わないようご注意ください。

同様に、粉じん障害防止規則についても、当該製品を解体、破砕などする場合には適用となる場合がありますのでご注意ください。

## 16. その他の情報

参考文献 本製品の英文 SDS(060815) : LECO Corporation  
 JIS Z7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、  
 作業場内の表示および安全データシート  
 化学便覧 : 丸善  
 職場のあんぜんサイト : 厚生労働省  
 「特定化学物質障害予防規則等の改正（ナフタレンとリフラクトリーセラミックファイバーの追加）に係るパンフレット」  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000099121.html> : 厚生労働省

作成：平成27年12月2日

改訂：

\* 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。

尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。